

財政試算 市民欺く

共産党 山中氏が力説

テレビ討論会

日本共産党大阪市議団の山中智子団長は、読売テレビ「かんさい情報ネットten.」(9日)、毎日放送テレビ「ミント!」(12日)の生放送の討論番組に相次いで出席



「ミント!」の討論番組で討論する山中氏(左)と松井氏=12日(毎日放送テレビより)

の。そんなことで住民投票に問うていいのか」と厳しく批判しました。

まともな議論で
きない姿やらす

公明党大阪市議団の土岐恭生幹事長が突然、塾代助成などを盛り込んだ予算に共産党は反対したなどと言いつる一方で、自民党も共産党も参加した法定協でつくった制度案なので、住民サービスは低下しないと強弁。大阪府廃止後の問題について、まともに議論できない姿をさらけ出しました。

し、松井氏ら各党代表と議論しました。いずれの番組でも、大阪市独自の住民サービスの行方や、「特別区」の財政試算が大きな焦点に。「ミント!」で松井氏は、過去5年間で大阪市の決算は、予算よりも毎年平均200億円以上

余っており、「特別区」の財政運営はやっていけないとの試算を示しました。山中氏は、税収が予算よりも多い好調期の数字で、「特別区」の制度案を検討する法定協議会でも議論していない試算だと指摘。「市民を欺くも

山中氏は、無駄遣いをやめて、住民に予算を振り向ける大阪市にしたいので予算全体に反対してきたと反論。「(大阪市を)潰してしまえば元も子もない。住民が主人公の新しい大阪市を築くため、潰すのではなく、より良い街に変えるために頑張る」と表明しました。